

平成 18 年度 流域一体化による水源地域活性化促進調査 報告書

上下流連携からはじめる流域一体化

～流域一体化促進マニュアル～

平成 19 年 2 月

国土交通省 土地・水資源局
水資源部 水源地域対策課

はじめに

水資源開発は、ダム建設等により上流の水源地域に一方的な不利益や不公平感を生じることから、水源地域住民の理解を得ることが不可欠です。このため、下流受益地域が水源地域への理解と協力を進め、ダム貯水池の水質保全・水源林の整備などの水源地域対策を流域一体となって共に行うことが重要となっています。

近年、上下流における流域活動に関心の高い水源地域と下流地域とのそれぞれの行政や行動力のある非営利活動組織（いわゆる NPO）などが互いに連携することについて模索が始まっていますが、一部の住民等の活動に留まっています。今後、流域全体が一体となった水源地域の保全・活性化への取り組みを促進していくことが重要な課題となっています。このような状況の中で、本調査では、上下流の流域活動に関心の高い住民等のみではなく流域活動に関心の高くない層の住民等も流域活動に参加し、上下流全体が一体となり水源地域の保全・活性化を促進するための仕組みづくりについて調査・検討を行いました。

本冊子は、これまでの調査結果を取りまとめたものです。流域が一体となって水源地域を活性化させていくための考え方や取り組みについて、調査事例から得られた知見を整理しています。水源地域の関係者に限らず下流受益地域の関係者にとっても、流域で活動実践する際の参考になれば幸いです。

水源地域対策課

本書のねらい

本書は、平成 16 年度から平成 18 年度にかけて取り組んだ「流域一体化による水源地域活性化の促進調査」の成果を取りまとめたものです。

◎水源地域を活性化したいと願う人たちの手がりとして

本書は、これまで水源地域対策課で取り組んできた水源地域活性化に関する調査の経験をもとに、現場から得られた知見を再構築することにより、水源地域を活性化したいと願う人たちの、はじめの一步を考える手がりとなるように整理しています。

◎みなさんが活動を進めていく上での、ヒントとして

水源地域対策課で取り組んできた水源地域活性化に関する調査では、複数年にわたり特定の流域に関わりながら地域住民による活動を情報収集（モニタリング）しています。本書は、現場において実践された水源地域活性化の活動を紹介しながら、みなさんが自分たちの現場で取り組んでいく際のヒントとしています。

本書の構成

本書は、右図のような構成です。

流域一体化による水源地域活性化のための考え方や具体的な戦略づくり、さらに活動を率いていくリーダー像について、これまでの調査経験から取りまとめています。

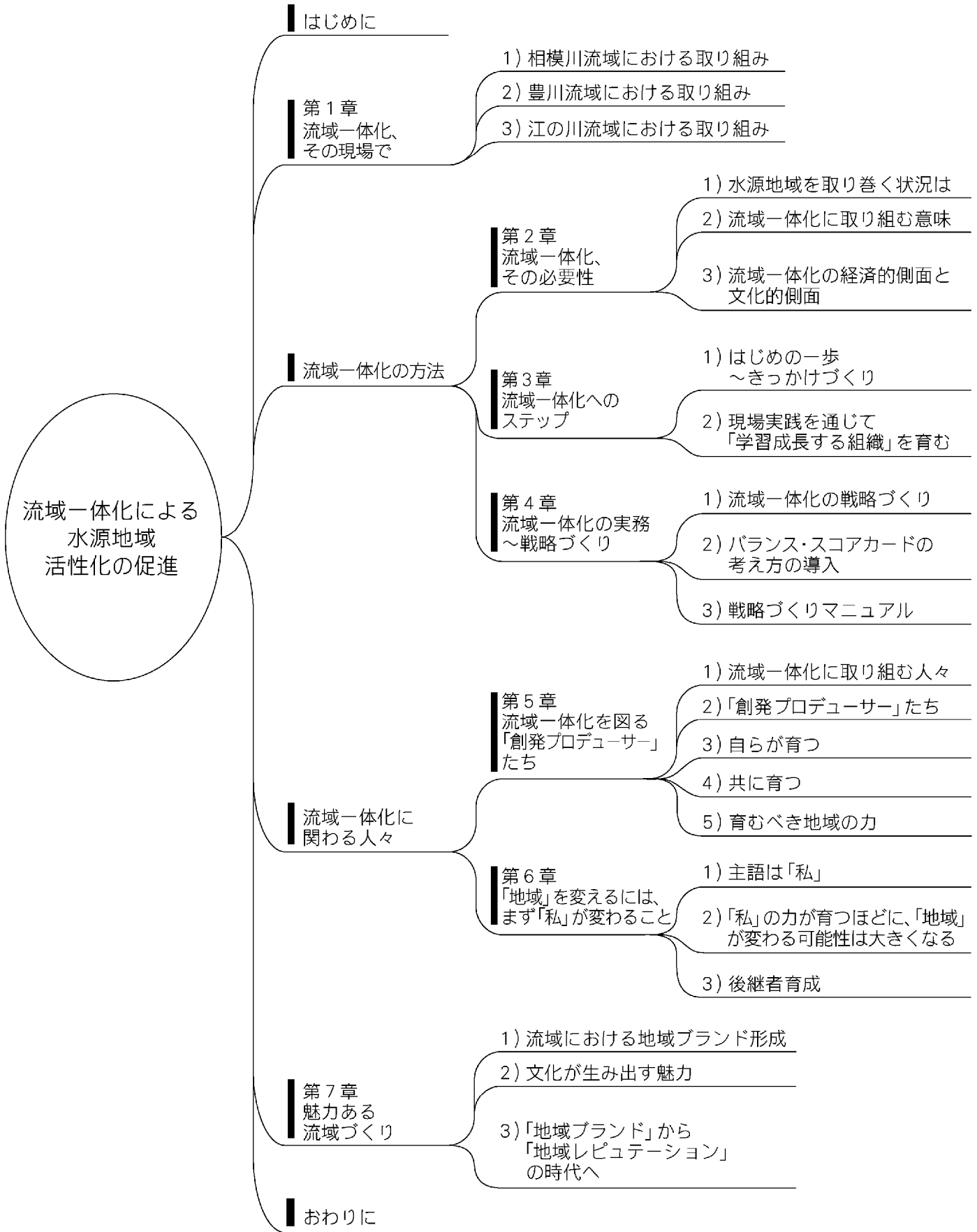
◎これまでに水源地域活性化の取り組み経験が、あまりない方々へ

まだ、水源地域活性化や上下流の連携に関する取り組みの経験があまりない方々は、できる限り本書の構成通りに読み進めてみて下さい。

「第1章 流域一体化、その現場で」では、相模川流域・豊川流域・江の川流域での実際の活動を紹介しています。そして、第2章以降は、流域一体化による水源地域活性化を推進していくための考え方や取り組み方を整理しています。

◎すでに流域一体となって水源地域活性化の取り組みを行っている方々へ

私たちは、これまで全国各地の水源地域活性化調査を行ってきた経験から、今後、水源地域を活性化させていくためには、流域が一体となった「戦略づくり」が必要であると考えます。このため、すでに様々な活動を行っている方々は、「第4章 流域一体化の実務～戦略づくり」を中心に読み進めて頂ければ幸いです。ここで紹介している戦略づくりは、本調査の中で試行錯誤しながら整理しつつあるものであり、今後、さらに検討を深めるべきものですが、各地の現場で参考になるものと考え整理掲載しています。



も く じ

はじめに

第1章 流域一体化、その現場で

- 1) 相模川流域における取り組み 10
- 2) 豊川流域における取り組み 23
- 3) 江の川流域における取り組み 36

第2章 流域一体化、その必要性

- 1) 水源地域を取り巻く状況は 48
- 2) 流域一体化に取り組む意味 54
- 3) 流域一体化の経済的側面と文化的側面 57

第3章 流域一体化へのステップ

- 1) はじめの一步 ～きっかけづくり 61
- 2) 現場実践を通じて「学習成長する組織」を育む 66

第4章 流域一体化の実務 ～戦略づくり

- 1) 流域一体化の戦略づくり 68
- 2) バランス・スコアカードの考え方の導入 72
- 3) 戦略づくりマニュアル 78

第5章 流域一体化を図る「創発プロデューサー」たち

- 1) 流域一体化に取り組む人々..... 107
- 2) 「創発プロデューサー」たち..... 110
- 3) 自らが育つ..... 116
- 4) 共に育つ..... 119
- 5) 育むべき地域の力..... 126

第6章 「地域」を変えるには、まず「私」が変わること

- 1) 主語は「私」..... 128
- 2) 「私」の力が育つほどに、「地域」が変わる可能性は大きくなる
..... 130
- 3) 後継者育成..... 132

第7章 魅力ある流域づくり

- 1) 流域における地域ブランド形成..... 133
- 2) 文化が生み出す魅力..... 138
- 3) 「地域ブランド」から「地域レピュテーション」の時代へ
..... 139

おわりに